

いのち
生命のにぎわい調査団
いのち
生命のにぎわい通信

第 34 号 : 発行 平成 27 年 (2015 年) 4 月

発行 : 千葉県環境生活部自然保護課
千葉県生物多様性センター

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2
(千葉県立中央博物館内)
TEL 043-265-3601 FAX 043-265-3615
URL <http://www.bdcchiba.jp/monitor/>
E-mail monitor@bdcchiba.jp

春の妖精、チョウを観察しよう！

日に日に暖かく、たくさんの生き物が見られるようになってきました。しかし、「寒の戻り」や「花冷え」といわれる寒い日もあり、そのような日にはチョウが日光浴をしている姿が見られます。特に午前中は動きが鈍いので、撮影のチャンスです。自分の影が入らないように撮影すると、チョウの鮮やかさを最大限に引き出せます。 ※花にとまっているチョウは食事中ですから、できるだけ驚かさないようにしましょう。

(a0000 は撮影者の団員番号です。)



モンシロチョウ a0708

白い翅に黒い斑がある。オスとメスで紫外線の反射率が違うことが知られている。



スジグロシロチョウ a0261

白い翅に黒いスジがはっきり入る。オスはレモンの香りがする。



モンキチョウ a0512

黄色い翅にはっきりとした斑。後ろ翅中央に丸い白斑。メスは全体的に白いが模様は同じ。



キタキチョウ a0034

全体に黄色く、褐色斑がある。成虫で越冬する。モンキチョウより色が濃く見える。



ツマキチョウ a0963

翅を閉じると苔があるように見える。オスの前翅の先端は鮮やかなオレンジ色。



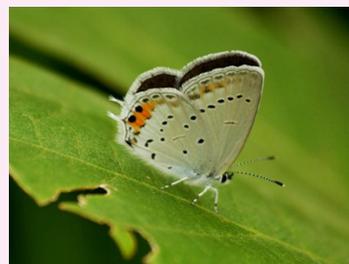
ヤマトシジミ a0466

褐色がかった翅で、眼は灰色。都市域でも多く見られる。



ルリシジミ a0189

翅が白く斑も小さい。眼が黒く、ヤマトシジミより少し大きい。



ツバメシジミ a0285

翅の後縁にオレンジ色の斑があり、尾状突起がある。



ベニシジミ a0724

オレンジ色が鮮やか。翅を開いて日光浴をすることが多い。



ムラサキシジミ a0777

翅を閉じると褐色だが、開くと鮮やかな瑠璃色をしている。成虫で越冬する。



ルリタテハ a0365

翅を閉じると真っ黒だが、開くと青い帯がある。成虫越冬でよく日光浴をする。



キタテハ a0782

全体に、オレンジ色に近い褐色。翅の縁が切れ込む。成虫越冬でよく日光浴をする。

最新の生物多様性に関する情報、各種講習会の情報は、当センターと調査団のホームページをご覧ください
「生物多様性センター」 <http://www.bdcchiba.jp/> 「調査団」 <http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html>

平成 26 年度 生命のにぎわい調査フォーラムを開催しました

平成 27 年 3 月 7 日 (土)

生命のにぎわい調査団は、この 3 月で設立から 6 年 8 か月が経過し、団員数は 1,020 名、報告件数は延べ約 49,100 件 (1 年間で約 18,000 件) となりました。今年も調査フォーラムを開催し、参加者は 69 名 (団員 49 名、団員以外 13 名、職員 7 名) でした。

1 講演「千葉県の自然公園」 生物多様性センター主幹 熊谷宏尚

千葉県は県立自然公園発祥の地であり、今年が千葉県立自然公園誕生 80 周年です。全国に先駆けて 1933 年に千葉県立公園条例が制定され、1935 年に手賀沼、水郷、銚子、九十九里、清澄山、鹿野山に公園計画区域が指定されました。現在、大利根、富山、嶺岡山系、養老溪谷奥清澄、高宕山、九十九里、印旛手賀、笠森鶴舞の 8 つの自然公園と、南房総国定公園、水郷筑波国定公園をあわせて 10 の自然公園があります。海外の事例とともに、自然公園が生物多様性保全に果たす意義について解説しました。

2 報告「調査団の生き物調査報告のデータ解析」 生物多様性センター副主幹 御巫由紀

「地理情報システムを用いた生物の生息分布と周辺の土地利用について」 東京情報大学 鈴木裕也・中村光一

3 調査団員からの情報提供・観察事例紹介

- ①「シジュウカラの巣」 高山日奈子 (a0902)
- ②「北印旛沼の現状とそこに暮らす野鳥 12 カ月」 和田信裕 (a0285)
- ③「房総半島の砂浜海岸のさかなたち ～砂浜海岸の知られざる生命の営み～」 青木友寛 (a0954)
- ④「美浜区埋め立て地区の自然観察 (高浜中)」 高見 等 (a0195)

4 その他、報告・情報交換

- ①「水辺の生き物調査のすゝめ」生物多様性センター 鈴木規慈
- ②「春の主役、チョウの紹介」生物多様性センター 中込 哲
- ③ 団員 1000 人記念品授与

団員番号 a1000 番となられたのは、二上明久様でした。ご家族のみち子様、俊久様、英久様に記念品を贈呈しました。

同時開催！ 写真コンテスト



最優秀賞「しっこいアブ (アオバズク)」

フォーラム参加者の投票により、応募された力作 34 点から最優秀賞と優秀賞を決定しました。今年度は新しい試みとして、応募全作品を展示しています。

トピックス展「生命 (いのち) のにぎわい」

～ 生命のにぎわい調査団 生物多様性 写真展 ～
平成 27 年 3 月 10 日 (火) ～ 5 月 10 日 (日) 中央博物館第 2 企画展示室

※ 観覧には博物館入館料が必要です。



優秀賞「紅葉とカワセミ」

平成 27 年度 第 1 回現地研修会 in 大房岬自然公園 開催のお知らせ

日時 平成 27 年 5 月 9 日 (土)

午前 10:30 ～ 午後 3:00 大房岬自然公園 (南房総市)

大房岬の磯・砂浜・岬の森で、春の生きものを観察します。

洞穴や昭和初期の要塞の探検にも挑戦してみましよう！

〈これからの季節に観察できる生きもの〉

- 調査対象種：カワセミ、キジ、ヒガシニホントカゲ、サワガニ、キンラン、オオキンケイギク (外) など
- 調査対象種以外 (種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします)
- * 渡りのヒタキ類、サシバなどの猛禽類 * 各種昆虫、両生類、爬虫類など
- * 希少生物 (生息・生育数が減少している生物) や、外来生物の報告も受け付けています。

メールアドレスなど、団員登録情報に変更がありましたら、事務局までお知らせください